



絆

KIZUNA
YAMAMOTO INDUSTRIES Co., Ltd.
Company Newsletter

山本産業(株)社内報
きずな
2023.1.1
vol.13

二〇二三年は「癸卯(みづのとう)」の年。
これまでの努力が実を結び、勢いよく成長し飛躍できる年であり、
新しいことに挑戦するに最適な年とも言われています。
みんなで目指す姿に向かって“うさこぎ”的ように跳ね上がる
良い一年にしていきましょう。

癸卯

誠 実 用 賴 信 信
山本純敏

二〇二二年十月吉日建立

新年明けましておめでとうござります

コロナが日本に上陸して三年、マスク着用、楽しい昼食休憩なのに黙食、と感染予防でコロナと闘い続けております。ご協力ありがとうございました。「感染しない、感染させない」で今年もがんばりましょう。

山本会長がお亡くなりになつて早二年経ちます。会長は六十年近く会社トップとして事業発展にご尽力されました。その記念として、会長の遺言ともいえる「誠実・信用・信頼」の文字を刻んだ石碑を建立し、昨年十月十六日に除幕式を行いました。

わが社は「誠実・信用・信頼」を社是とし、経営理念に「人を財として、顧客に満足いただける優れた価値を提供し、顧客と社会に貢献する」とおき、「愛と思いやりに満ちあふれた世界一幸せな会社」を目指しています。社員の皆様が「やがい、働きがいを感じ取れる会社づくり」、また「個人、チームの成長によって会社を成長させる」それらを目的に中期運営目標として『チャレンジ2030』を掲げています。その近況をお伝えします。

山本会長がお亡くなりになつて早二年経ちます。会長は六十年近く会社トップとして事業発展にご尽力されました。その記念として、会長の遺言ともいえる「誠実・信用・信頼」の文字を刻んだ石碑を建立し、昨年十月十六日に除幕式を行いました。

わが社は「誠実・信用・信頼」を社是とし、経営理念に「人を財として、顧客に満足いただける優れた価値を提供し、顧客と社会に貢献する」とおき、「愛と思いやりに満ちあふれた世界一幸せな会社」を目指しています。社員の皆様が「やがい、働きがいを感じ取れる会社づくり」、また「個人、チームの成長によって会社を成長させる」それらを目的に中期運営目標として『チャレンジ2030』を掲げています。その近況をお伝えします。

社員の皆様がやりがいを感じ取つてもらえる制度」やる気を起こせる人事評価制度（実績評価、能力評価、賃金）をつくり上げ、昨年十一月に新しい仕組みを使って実績評価を行ないました。まだまだ不備なところもありますが、修正をかけ皆さんができる気を起こしてもらえるものに磨きをかけていきます。

「やりがい、働きがいをもつて働き続けてもらう」そのためには、人のつながりを重視する組織運営が出来ねばなりません。それは人財育成が重要であり、採用から育成、活躍、定着へと繋がる「活育」への取り組みを行なつております。

製造の現場に目を向けると、肉体的疲労が生ずる作業があります。『チャレンジ2030』には、作業環境の負荷軽減に向けた改善を掲げております。セット作業へのロボット導入検討、作業方法の改善、また痛みへの予防として理学療法士さんによる「痛みケア」の充実を行なっています。セット作業への

高校新卒入社の方々に対しでは、数年前より取り組んでおります。昨年の六月からは、途中入社の新人正社員の方々を対象に取り組み始めます。本年も『チャレンジ2030』に向けた活動をステップアップさせます。その評価者は従業員の皆様です。

働き続けたいと思つてもらえる職場にするために、最も働き続けたいと思つてもらいます。

代表取締役社長

大東 俊晶



山本会長の記念碑
(2022年10月建立)

ひとの繋がりがつくる組織運営

生産本部副本部長
堀口 哲行

山本産業は中期運営目標として『思いを一つにチャレンジ2030』を掲げ、生産本部としては目標達成に向けた組織運営の実現に注力しております。

組織運営を行うためには、組織を構成するメンバーがそれぞれの役割を果たすことが大切であり、実現するためには情報の共有が大切です。その情報の本質を知り、それに応じた行動をすることで組織が動いていきます。

それでは情報はどのようにして得ていくのでしょうか。私はコミュニケーションを取り、信頼関係を築くことによって情報量が多くなっていき、さらに深みも増していくのだと思います。

2022年を振り返った時、「山本産業が担う生産責任が果たせないかも知れない」という重要な情報について、まず各職場のリーダーの皆様と共有することで、「協力、助け合いのある組織運営」を体現することが出来ました。

この時リーダーの皆様は、すぐに各職場のメンバーの皆様とこの情報を共有してくれ、それにより各職場同士が連携した生産協力が生まれました。

このような結果と生み出せた事実に対しての気持ちを言葉にすれば、仲間である皆様への「感謝」でしかありません。本当にありがとうございました。お陰様で無事に2023年を迎えることが出来ました。

本年も感謝の気持ちを忘れず、皆様と共に頑張っていきたいと思いますので、ご協力のほど、よろしくお願ひいたします。



「やる気を起こせる人事制度」への取り組み

事業戦略本部副本部長
末田 治

『チャレンジ2030』に掲げている「やる気を起こせる人事制度」の実現に向け、昨年4月より新しい制度がスタートしました。今回初めて、考課者であるリーダーに皆さんの実績評価面談をお願いしました。

2022年度上期の活動結果

考課者の皆さんに記録していただいたメモの総数は4,732件で、そのうち約90%が皆さんの良い行動に関するメモだということが、山本産業の大きな特徴でした。これは「人を財とする」会社の経営理念が大きな影響を与えていると思われます。

考課者の皆さんからの意見

●取り組んで良かった点

- ・職場でのコミュニケーションが増えた
- ・メンバーカーからの報連相が増えた
- ・大きな問題なく面談ができた（自身のスキルアップ）
- ・職位ランクに応じた内容が明確になっているため、メンバーにやるべきことを明確に説明することができた

●今後の課題

- ・成長を促したい点（成長のポイント）の記録メモを増やす
- 「良い点を褒めること」も「至らない点を告げて励ますこと」も心の栄養になる！

- ・評価基準のすり合わせ
- ・評価制度Ver.2への改善

これからも人事評価制度をより良い制度に改善し、「皆さんのがやりがい、働きがいを感じ取れる会社」の実現に向け、活動を進めていきます。皆さんのご協力をよろしくお願ひいたします。



将来を見据えた人財育成について

代表取締役専務
山本 純久

山本産業は中期運営目標『チャレンジ2030』の達成に向け、やりがい、働きがいを持って働き続けてもらう、人のつながりを重要視する組織運営を目指しています。

それには人財育成が必要不可欠だと考えています。山本産業の成長には従業員一人ひとりの成長が欠かせません。

そのために今、山本産業としての人財育成体系をつくり上げようとしています。これは従業員の皆様にも見えるようにしていこうと考えています。

山本産業としての求める社員像は評価制度の見直しに伴い、昨年できあがりました。

しかし、そこに至る道のりを示すことができていません。人財育成体系がその道のりに当たると考えています。活躍もその一つです。

人財育成体系を新入社員はじめ、全従業員に見ていただくことで自分が何をすればいいのか、少しでも理解いただけると思います。

教育内容には会社から提供する研修もあります。併せて一人ひとりが選択し、自発的に取り組む学びもあればと考えています。

学びの機会を自分自身の人生をより良くするための機会だと思ってみてください。



特定保健指導を利用しましょう

特定保健指導とは?

協会けんぽ加入者を対象に毎年1月から3月に実施した生活習慣病予防健診の結果から、生活習慣の改善が必要な40歳以上の方に対し行われる保健指導です。

生活習慣病の発症を予防するために食事や運動のアドバイスを受け、生活習慣の改善をサポートしてくれます。



生活習慣病とは?

以前は「成人病」と呼ばれており、糖尿病、高血圧症、心筋梗塞、脳卒中、肺がん、慢性気管支炎などがあります。

2つの支援内容

動機付け 支援

管理栄養士 との 初回面談

最終評価 (約3ヶ月後)

積極的 支援

管理栄養士 との 初回面談

管理栄養士が 定期的に 支援

最終評価 (約3ヶ月後)

残念ながら当社の受診率は高くありませんが、過去に受診された方々からは「やって良かった」と感想が寄せられています。健康診断は受けた後が大事ですので、特定保健指導の対象になった方は10年、20年先を健康に過ごすため、受診をお願いします。

ケミカル 健康意識向上への取り組み

①月1回の健康推進への情報発信

季節性の話題や、健康診断結果の有所見者が多い項目など、テーマを決めて毎月取り組んでいます。

②4大疾病(がん・脳卒中・心臓病・糖尿病)をテーマにした話し合い

中津井さん、山本さん、金野さんが小集団を組んで話し合い、皆に発表してくれています。

③『季節の健康情報通信』への参加(共同制作)

人財育成と連携し、年に数回「共同制作」という形で活動しています。



共同制作した
情報通信の発表

4年ほど前から高城係長が①の活動に取り組んでいました。②③と活動が飛躍したのは、人財育成が発行している『季節の健康情報通信』を、時折CP-2の谷口さんが共同制作されていることに感銘を受けたのがきっかけでした。「もっと健康について何かできないか」と考えた高城係長は、健康意識の高い中津井さんに声を掛け、②③の活動が動き出しました。高城係長お一人で始まった健康意識向上の取り組みですが、現在活動の中心には多くのメンバーが参画し、係長の支援の下、職場を挙げての活動に成長しています。

日々忙しい中ですが、皆さんの職場でも健康について話し合ってみてはいかがでしょうか。

最優秀賞の紹介

5月に安全標語、9月に健康標語を募り、みなさまの思いを標語に表現していただきました。



ヒヤリで済んだその作業 隠さず仲間に報連相

生産本部 CP-2 第 1Gr 田中 優輝さん



見直そう 生活習慣 心と体の健康作り みんなが笑顔 健康職場

生産本部 CP-2 第 2Gr 森 裕矢さん

応募いただきありがとうございました

お互いの標語からお互いの考え方や意識について学び合い、みんなと一緒に安全意識、健康意識を高め合いましょう。

健康経営優良法人2022に 認定されました

健康経営優良法人とは、従業員の健康管理を経営的な視点で捉え、健康に配慮した取り組みを積極的に行っている優良な企業を顕彰する制度です。

第6回目である今回、和歌山県では大規模法人部門で3社、中小規模法人部門では当社を含め84社が認定されました。

この認定は会社の取り組みだけではなく、従業員の皆さまが健康増進について取り組んだ結果でもあります。ありがとうございました。

*健康診断受診率実質100%、二次検査受診、ラジオ体操、残業時間管理など

これからも健康という観点から「働き続けたいと思ってもらえる会社」の実現に向けて取り組んで参ります。



『安全と健康の確保はすべてに優先する』安全文化の構築を誓う

みんなで掴もうゼロ災害!

安全担当 松下 典彦

皆様ご安全に! 日々、職場での安全活動、および個々人の安全意識向上に努めていただき、誠にありがとうございます。

突然ですが、お尋ねします。「あなたはルールを守っていますか?」

公私問わず、私たちの生活には様々なルールが存在します。日常においても、まずはルールを知る、なぜそのルールが定められているのかを理解することが求められています。しかし時折、こんな声を耳にすることがあります。

「そんなルール、守っていたら仕事にならない」

「まあこれくらい、ちょっとくらいルールを守らなくてもいいじゃないか」

「ルールは理想の姿であり、現実とは違うんだ」

そう感じた場合は、『ルールの必要性』について再度見直してみませんか。「必要ないのでは?」「改善してみては?」と思うルールがあれば教えてください。職場リーダーを交えて一緒に考えて行きましょう。みんなで取り組む【ゼロ災害】はここからがスタートです。ルールを知り・理解することで、ルールを守る第一歩を踏み出しましょう。



非常に暑い日が続いた昨年夏のある日、職場で眼にした光景に気温以上に胸がアツくなりました。近くで保護具を外して作業をしていたメンバーに、「暑いけどちゃんと付けよらよ~」「マスクも気を付けよらよ~」と、周りのメンバーが(柔軟な口調で)声を掛けてくれていました。ルールを守る事を伝えられたメンバーも、素直に聞き入れている光景を見てとても心強く感じました。

当社の安全スローガンは、【一人ひとりの想いを重ね、みんなで取り組む安全活動】です。

お互いを思いやり、“自分の身は自分で守る”という安全の基本を忘れずに、まずはルールを守る事から【ゼロ災害】を目指しましょう。

品質保証への取り組み

品質担当 嶋田 勝之

各グループ、各チームが『チャレンジ2030』を目標に落とし込み、それぞれの形で日々の業務を推進しています。その中で『安全、安定、安心を追求するよきモノづくり』と『みんなで考え、みんなで話合い、みんなで行動する』を具現化した活動をしている【CP-2第3Gr歯磨きチーム】について紹介します。

歯磨きエリアには3ラインあり、定番もの、新アイテム、子ども向けなど様々な製品を取り扱っています。お客様の口に入る製品であるため、品質面、特に、異物混入対策に大変力を入れています。

中井さんがエリアリーダーを務め、3名のチームリーダーが主となり約60名のメンバーが『品質苦情を発生させない』という大きな目標に対し「みんなで」結果を出してくれています。大変労力の要る事だと思います。

◎過去の事例を教材としたミーティング

目標を達成させるために、「過去の事例を教材としたミーティング」を繰り返し実施してくれています。

品質苦情の大半は、過去に発生した品質ミス等の再発によるものです。そのため、ミーティングでは、過去に発生した事象に対しての繰返し教育や以前に発生した苦情への対策が、確実に守られているかの確認が最重要視されています。

具体的な活動としては、過去の品質ミスを「基本ルール再確認シート」にまとめ、見える化し、活用しています。交替勤務の職場では全員が集まることが難しいため、1つの班で話し合った内容を他の2班に展開し共有することで、チーム全員が同じ認識を持つことができています。このミーティングの在り方が大きな効果を生み、苦情の発生を抑制してくれています。

今後も決められた手順とルールを順守し、『品質苦情を発生させない』継続日数を増やしていくことを願っています。



チーム紹介 CP-1 第2Gr 第二工場



第二工場では、主に住居用洗剤のボトル製品を製造しています。1階ではフォークリフトでの荷受け業務、2階では液体洗剤充填機のオペレーション業務、3階ではボトルやキャップなどの資材供給業務を担っています。エリアリーダー(AL)の松崎さんを中心に、世古さん、喜多さん、由良さんがチームリーダー(TL)を務めています。男性44名、女性7名、総勢51名のチームです。(記事作成時)



○エリアリーダー 松崎竜也さんの想い

第二工場のメンバーは、お互いに声の掛け合いででき、助け合いの気持ち・お互いを気づかう気持ちを持っています。暖かさ、優しさ、仲の良さがこのチームにはあると感じています。

会社目標の『チャレンジ2030』に「みんなで考え、みんなで話し合い、みんなで行動」とありますが、私たちも話し合いを大事にしています。日々仕事をする中で、時には考え方の違いから衝突することもあります。そんな時は目の前の問題解決のためだけではなく、メンバーの心に「安心」を作るため、納得するまで話し合うようにしています。

また職場の活動では、過去事例の共有に力を入れています。ベテランメンバーへの再教育はもちろん、新しく仲間になった人や、生産協力に来てくれる人にも、作業ルールの教育に抜けがないよう、繰り返し伝えることで、安全と品質をみんなで守っています。

このように何でも本音で話し合い、「第二工場で仕事がしたい」と言ってもらえる職場作りにみんなで取り組んでいます。

実は、私自身がとても辛かった時に、第二工場のメンバーに支えてもらっていた時期がありました。職場を預かる立場となった今、「その時の恩返しをしたい」という気持ちを胸に、「健康で楽しく明るい職場」を作り上げることでメンバー一人ひとりを守りたいと考えています。



第二工場は
これからもっと



「健康で楽しく
明るい職場」で
ありたい!!

CP-2 第2Gr プロセスチームの活動紹介

★チームリーダーミーティング(旧称:班長ミーティング)

(TL:チームリーダーの略)

プロセスチームには交替勤務3班・日勤1班の計4つの班があり、それぞれの情報を共有するために、毎月1回(1時間~1時間半)、各班のリーダー4人が集まる機会を設けています。交替勤務3班のTLは、ひとりは昼勤・ひとりは夜勤・ひとりは休みというように、シフトがバラバラで勤務が重なることはありませんが、3人で勤務調整をして時間を作り実施しています。(日勤班リーダーは岡崎係長が兼任しています。)

以前のミーティングの議題は班編成が主でしたが、今では『プロセス全体について話せる、チーム運営のための時間』にしています。各班で問題があれば4人で相談し、意見を出し合い、自班のこと(自分事)として考えるようにしています。最近では、新しい人事評価制度について各班の基準を合わせるために、それぞれのやり方を共有したり、悩みを相談し合ったりすることで、より整合性のある評価ができるように話し合いました。他にも、メンバーの多能化、育成進捗、ミスへの対策、ルール順守などについて、**情報共有・相談・意見交換**をしています。ここで決まった内容や得た情報を持ち帰り、TLから各班のメンバーに共有しています。

それぞれ班のカラー(個性)があり、各班の取り組みなどを共有することで、お互いを高め合える良い機会となっています。これからもプロセスチームを良くしていくために、チームリーダーミーティングを継続して実施していきます。

○TLミーティングで話し合い、実行したこと

- ・新評価制度(面談計画・実施方法・今後について)
- ・基本ルール(会社発信の情報共有など)
- ・メンバーの育成
- ・班編成
- ・フォークリフトの指差確認
- ・転倒災害防止(チェックシートの活用)
- ・熱中症予防対策
- ・他チームへの生産協力(メンバーへの声掛け・シフト調整)



社内研修【心と技の備わったリーダーの育成】

現在社内研修として3つの研修が行われています。その内の「マネージャー研修」については社内報第12号で紹介しております。今回は「PHP研修(5期生)」と「女性リーダー勉強会」について、それぞれがどのようなことをしているのかを紹介します。

PHP研修(5期生) 講師: 戸邊美由起様

目的 次世代管理職/リーダー育成

参加者 生産本部 CP-1 第1Gr 瀬藤TL・第2Gr 松崎AL
ケミカル FC東Gr 辻岡TL

内容 CP-2 第2Gr 岡崎係長・第3Gr 堀本TL
マネジメントスキル、ビジネスコミュニケーション、共通課題、
職場での実践など



女性リーダー勉強会 講師: 田邊ゆかり様

目的 女性TL/LL育成、及び女性AL意見交換

参加者 生産本部 CP-1 第3 Gr 島本AL
CP-2 第1 Gr 波多野AL・第2 Gr 谷口AL

内容 心理学を用いた自己分析とセルフコントロール、チームの育成イメージ共有、
職場での実践など
※年始からスタートする「女性TL/LL合同勉強会」についての意見交換



山本産業の将来を牽引していくため、後継者育成のため、より良い職場にするため。ビジョンに近づくためにはいずれも欠かせません。しかし研修参加者だけに知識がついても、本来目的とした効果は得られません。上司・先輩・後輩・同僚の皆さんと職場全体で取り組むことが、成長の大きなカギとなります。応援よろしくお願ひします。

※AL: エリアリーダー、TL: チームリーダー、LL: ラインリーダーの略

外国人技能実習生のご紹介 ➤



技能実習1期生は、2020年10月28日に山本産業へ入社しました。

早いものですね。もう2年と2ヶ月が経とうとしています。

今年の3月には、技能検定「随時3級 工業包装」実技試験があります。

かなづちで「トントン」と釘を打ち、木箱を製作するんですよ！内装用防水袋も製作します。

みなさん応援してあげてくださいね。

1期生に続いて2期生が2023年夏頃に、な・な・なんと秋頃には、3期生が入社予定です。現在、入社に向けベトナム日本語学校で一生懸命日本語を学んでいます。技能実習生はとても真面目です。家族と離れて、言葉の壁もあるなかで仕事を覚えることは非常に大変なことです。一緒に働くうえで、お国柄の違いを感じることもあると思いますが、1期生同様にみなさまのあたたかい想いが、実習生の支えとなり、原動力になります。
どうか皆さんご指導のほどよろしくお願ひいたします。

危険物取扱者試験 合格者

「危険物取扱者」は危険物を取り扱ううえで必要な資格です。試験に合格すれば、消防法で定められている危険物を作業現場で取り扱うことができるようになります。なかでも、「甲種」は、取り扱える危険物の範囲が広く、難易度も高い最難関の危険物取扱者資格になります。

「甲種」今道かおりさん

「乙種第4類」田中明広さん、中島諒さん、
中本晃平さん、
枠屋翔太さん

「乙種第2類」中島諒さん

おめでとうございます！



2022年度新卒新入社員

みなさまの温かい
ご指導のもと、担当
業務の基礎を終え、
更なる技術の習得に
励んでくれています。
今後、益々の活躍が
期待されます。引き
続き、ご支援をよろし
くお願いします。



(左から) 川村さん: 生産本部 CP-1 第1Gr 充填ラインオペレーター
久保さん: 生産本部 CP-2 第2Gr 原材料の計量・配合
上田さん: 生産本部 CP-2 第1Gr 充填ラインオペレーター

永年勤続表彰

永年勤続表彰の皆様、おめでとうございます。
数々のご功績と誠実なご勤務の賜物とお喜び申し上げると共に、
今後共、後進のご指導に一層ご尽力いただけますようお願い申し上げます。



青木 伸之さん

私は1982年に、18歳で入社しました。この度、勤続40年を無事迎えることができました。多くの現場で仕事をし、多くの方々と出会い、多くの経験をし、多くのことを学ばせていただいた40年でした。本当に、ありがとうございました。

朝倉 浩之さん

1982年3月に入社させていただき、以来40年間勤めてこれたのは、多くの事を教えてくださいました沢山の方々、皆様のお陰です。お礼申し上げます。ありがとうございました。今後も感謝の気持ちを忘れず仕事に励みますので、宜しくお願ひ申し上げます。

川瀬 弘年さん

おかげ様で、無事に40年を迎えることができました。入社～半年間は油剤で、その後はケミカルでお世話になり、今は化学品の充填・荷受けに伴う様々な仕事や、研究所のサポート業務等を担っています。40年お世話になり、ありがとうございました。

小林 俊幸さん

40年様なことがあります。辛いこと苦しいこと楽しいこと嬉しいこと悲しいこと。いつの時代も言えることは、そこにはいつも共に働く仲間がいたことです。そんな皆様方に、感謝しかありません。本当にありがとうございました。

山口 幸代さん

40年を迎えることができました。沢山の方々に色々なことを教えていただき、今日まで学んできました。ここまでこれたのも、先輩方に恵まれたからです。ありがとうございます。今後も健康には十分に気をつけながら、頑張っていきたいと思います。



貴志 弘さん

荒木 愛さん

香川 聖仁さん

長田 政巳さん



鷲辺 英美さん

三ツ田淳子さん

水口 政子さん

北郷 義人さん

谷河 保明さん

中津井美恵子さん

田中 義明さん

岩井 英美さん

石井 明美さん

橋本 佳長さん

山本 治美さん

笠原 和子さん

福地 淳子さん

田幡 真弓さん

山口 賢治さん

狩野 進英さん



小浦 博貴さん

前田 祐季さん

鷲島 雅子さん

井原 真由美さん

北本ナルナーさん

西中 康貴さん

谷脇 博江さん

山本 愛さん

福田奈緒美さん

森田 理恵さん

村田 和也さん

西本 友香さん

岡本 吉文さん

岡本 幸さん

廣瀬 智孝さん

播磨 雅史さん

伊藤安樹子さん

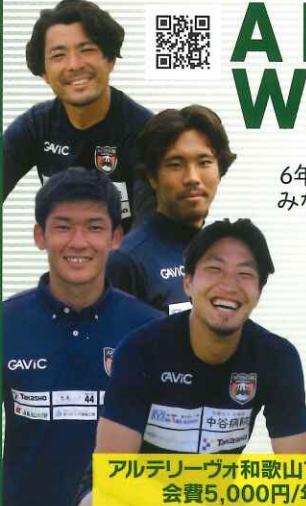
中村 剛さん

井上 貴美さん

田村 貴根さん



ARTERIVO WAKAYAMA



昨年、アルテリーヴォ和歌山は6年ぶりの関西リーグ優勝を果たしました。みなさま熱い応援ありがとうございました。これからもJリーグ参入を目指し、日々成長するアルテリーヴォを応援し続けましょう。

そのほか、アルテリーヴォは選挙の投票推進に関わる活動や、ボールゲーム教室、トークンの開始、ラジオ番組への出演など多岐にわたる活動を行っております。チェックしてみてください。

アルテリーヴォ和歌山ファンクラブ CLUB ARTERIVO
会費5,000円/年 詳しくは本社 末田まで

社内表彰



表彰者の方々には社長より感謝状が贈られました。

生産本部CP-2 第2Gr プロセスチーム

一斗缶に貼られていたラベルの間違いを発見されました。チーム全体での責任を持った確認作業への功績をここに称えます。

生産本部 CP-2 第1Gr 伊原由香里さん

基準に満たない製品を発見、流出防止に大きく貢献されました。他の模範となるその努力の賜をここに称えます。

生産本部 流通加工センター 紀三井寺工場 星和寮チーム

清掃作業における主体性を持った取組みへの著しい成果をここに称えます。

C'est joli

TVでも紹介されたおしゃれで美味しいベーグル屋さんです! プレーン味が美味しい、お持ち帰りして、好きな具を挟んでも楽しいですよ。店内でランチもやってます♪

海南省重根 1981-25
たつベパーク内
073-487-5314
生産本部 CP-2第2Gr
新田真理子さん



まんげつ 満月

老舗の中華料理屋さんです。どのお料理も、とにかく美味しい、ほっこりする味です。中でもオススメが、満月会飯です。ほうれん草、豚肉、たまごの餡がかかつたご飯が最高です。

岩出市高塚 65
073-662-2833
流通加工センター
岩出工場
宮野敏子さん



とりよし 鳥喜

岩出市民がみんな大いすき、鳥喜です。行ったことのない人は、ぜひ! むね肉のからあげが、特に美味しいやみつきになります。

しかも、200g買っても300円以下とお買い得です。

岩出市清水 363-4
073-661-7038
生産本部技術開発
東浦敬明さん



本号では「チャレンジ 2030」に關係する具体的な活動を取り上げています。みなさんと一緒に実現を目指します。新型コロナはまだまだ予断を許さない状況です。一日でも早く感染拡大が收まりますよう、皆さんもウイルス対策を万全に、体調に気をつけてお過ごしください。

事業戦略本部 人財育成

編集後記

社内報「絆」第13号 令和5年1月発行 発行所／山本産業株式会社 編集／山本産業株式会社編集局
〒641-0012 和歌山市紀三井寺531-4 TEL.073-445-6773 FAX.073-444-8004 URL www.yamamotosangyo.jp/